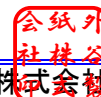



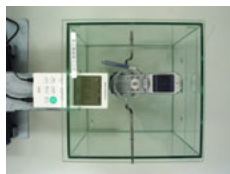
試験検査成績書



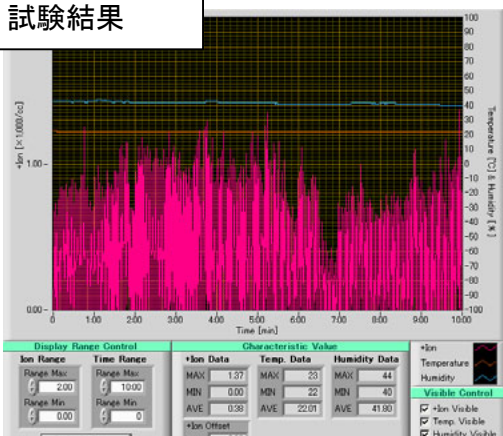
外谷製紙株式会社

● 試験内容	プラスイオン数量測定	
● 測定製品	「TORUNストラップ」	
● 測定場所	島根県立産業技術センター	
● 測定方法	電子計測室(室内温度約22℃、同気圧)において、微小空間(25cm ³ ガラスケース)内で携帯電話単体(電源入り状態)と「TORUNストラップ」を装着した携帯電話(電源入り状態)のプラスイオン数値を出した。 (指導:東京都立大学 瑠子先生) (※測定器によって多少の誤差はあります。)	
● 測定機器	アンデス社製マイナスイオン測定器ITC-201A	

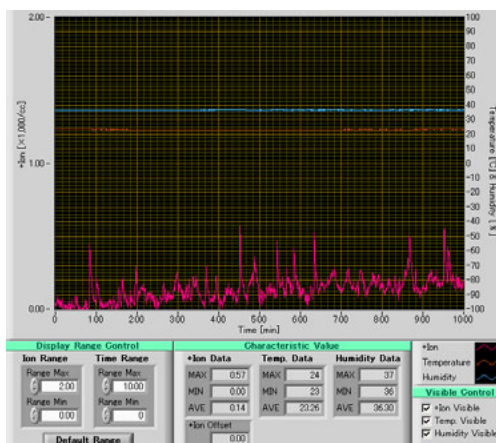
測定状況



試験結果



携帯電話の発生するプラスイオン数量グラフ



携帯電話+「TORUNストラップ」の発生するプラスイオン数量グラフ

測定商品	プラスイオン最大値(個/cc)	プラスイオン平均値(個/cc)
携帯電話	1,370	380
携帯電話+「TORUNストラップ」	570	140

携帯電話のプラスイオン発生量は10分間で、最大1,370個/cc、平均380個/ccでした。
「TORUNストラップ」を装着した携帯電話のプラスイオン数量は、最大570個/cc、平均140個/ccまで軽減されました。
携帯電話から発生する電磁波や静電気によるプラスイオンが、「TORUNストラップ」から発生するマイナスイオンによってイオンバランスを元にもどし、プラスイオンを抑制するということが分かります。